

第7回グレート・ブックス読書会

『純粋理性批判』は グレートブックスか？

日時：2015年7月7日(火) 18:00-19:30

場所：環on（人間・環境学研究科棟1F東側）

コーディネーター：渡邊浩一さん <博士(人間・環境学)>

書名：『純粋理性批判』イマヌエル・カント著
石川文康訳；上, 下. 筑摩書房, 2014.
<1F和書 134.2||J||8>
※本を持参いただく必要はありません



渡邊さんよりひとこと

「グレートブックス」とは20世紀のアメリカで開発されたリベラルアーツ教育の技法で、「西洋の伝統を形づくる」とされる古典を学生に系統的に読ませることを特徴とします。今回とりあげるカントの『純粋理性批判』もしばしばそうした一冊に数えられます。しかし、「グレートブックスとして『純粋理性批判』を読む」とはいったいどういうことなのでしょう。21世紀日本のわれわれにとってそれがどういう意味を持ち得るのか、当の書物を読みながら一緒に考えてみたいと思います。

申込方法：事前予約優先（当日参加も可）です。下記アドレス宛にメールでお申し込みください。件名を「カント読書会」とし、お名前、ご所属を明記してください。
※いただいた情報はコーディネーターにお知らせします。どうぞご了承ください。
また今後の読書会のご案内を図書館から送らせていただくことがございますが、それ以外の目的には使用しません。

問合せ先：京都大学吉田南総合図書館：逍遙館

MAIL：eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

TEL：075-753-6525 TWITTER：@yoshidasouthlib

1、2回生大歓迎の入門読書会です。どなたでもご自由にご参加ください。
Kritik der reinen Vernunft